

SERIES **総合型地域スポーツクラブ<sub>2</sub>**

# スポーツのさらなる発展を目指して

住田町総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会 委員長 佐々木豊秋

「創ろう 住田町の 元気なクラブ」をスローガンとし、20年4月体育指導委員を中心に設立準備委員会を立ち上げました。

それまでは、総合型地域スポーツクラブってなに…?そんなクラブ住田にはいない…などあまり興味・必要性を感じておりませんでした。が、県教委・県体育協会の熱いご指導、特にも当町と深い関わり・ご縁のある岩手大学准教授浅沼先生のクラブ設立に対する思い・必要性を訴えていただき「まずはやってみよう」「やりもしないで良いも悪いも無い」行動あるのみ!という経過で立ち上げたものです。



去年は、おかげさまで文部科学省の育成指定クラブ委託事業による補助を受けさまざまな活動を行わせていただきました。

とは言うものの、補助金100万円の使い方、張り切って立ち上げた方がいいが、なかなか事業を展開することができないなど、はじめは大変でした。

1年目ということもあり、また、設立準備委員同様、町民も総合型地域スポーツクラブってなに…?という方々も多かったため、即クラブ設立ではなく、まずは総合型地域スポーツクラブの目的や内容を町民にPRしよう!ということになりました。

事業はほとんど年度後期となってしまいましたが、既存の行事・各種団体との連携のもと次の事業を行いました。

9月	すみたスポレク祭・すみたっ子まつり
11月	男女混合バレーボール教室
12月	健康ストレッチ教室
1月	スポーツチャンバラ教室 先進クラブ視察
2月	健康ストレッチ教室 スキーツアー&スキー教室 室内グラウンドゴルフ教室 テーピング研修会

上記事業のほか、ロールパンナーを作成し町内各体育施設等に配置、また、教育委員会の協力を受け封筒の裏にクラブ設立に向けた広告を印刷するなど、総合型地域スポーツクラブを町民に浸透させようと展開しました。

しかしながら、当町は、面積が334.83k㎡と広い上、山に囲まれた地形で人口も約6,500名と少ないことから、全町を一つにしたクラブの



設立は難しい。また、補助事業を受けて1年間取り組んでみて、活動より先に補助金の使い方を考えてしまう、補助金があつての活動となってしまうように感じられました。(有効な活用方法もあるのでしょうか)

そこで21年度は、文部科学省の育成指定クラブ委託事業の補助は申請しないこととし、地区公民館と連携しながらクラブ設立に向けた取組みを進めることとしました。

少ない人数でもいい・少ない活動数でもいい、自らが計画し、賛同する人たちが参加できる活動を、活動をしていく中で人数・活動が増えていけばと思います。

町内には、五つの地区公民館がありますが、地域性もあることから、今年の一つの地区公民館にターゲットを絞りクラブ設立に向けて進めているところです。この地区にクラブが設立され、2年後・3年後と増えていくことを期待しながら、クラブ設立に向けて取り組んで行く方向です。

最後になりますが、これまで同様、県教委(広域スポーツセンター)・県体育協会(クラブ育成アドバイザー)・岩手大学浅沼先生・町教委等のご指導を受けながら、小さい町ではありますが、小さい町だからこそできる総合型スポーツクラブ「創ろう 住田町の元気なクラブ」設立を実現し、生涯スポーツとして楽しみ、さらには競技力向上も含めたスポーツのさらなる発展をめざして行きたいと考えています。

